



七曲がりの紫陽花も、大輪の花を咲かせる頃になりました。皆様お変わりございませんか。

3月の町議選挙では、皆様の身に余るご支援のおかげで、議会に復帰することができました。議会を離れていた期間「学んだ事」「感じた事」を大切に、自分の生き方が、多くの人の幸せのためになっているか考えながら新しい活動をして行きたいと考えています。また、厳し財政状況のなかですが、吉野を元気にするために、議員12名が力を合わせ、頑張っていければと考えています。

これから、梅雨で運動不足になりがちですが、お体にはくれぐれもお気をつけください。

## シリーズ吉野を考える(第七回)

### みんなで、地域の『元気』をとりの戻そう

吉野町の少子高齢化が急激に進むなか、とくに国栖・中竜門地区の過疎化が、集落に深刻な影を落としています。今回は、この2つの地区の『元気』について考えていきたいと思えます。

今この地区では、一人また一人と住民が減り、空き家が増えてきていませんか。また、地域の自治、道路や水路の管理あるいは冠婚葬祭など、共同体としての活動を少数の住民が担っており、大きな負担となってきたと思えます。

最近、この地区の支所廃止問題について、議会でもなにかと論議されており、しかし、支所の存続の是非について考えるまえに、「地域の灯」が、次々と消えていく現実をしつかりと受け止める、元気あふれる明日を創造するために、いま何が必要か、何をなすべきか、地域住民と行政、議会が一つになって知恵を絞り、汗をかき確かな政策を展開すべきときではないでしょうか。

### 「ものづくりの里」構 想の充実

国栖地区では、いま国栖観光協



会が中心となつて、観光と製造業を融合した新たな取り組み「ものづくりの里」構想が行われています。豊かな自然と和紙・製箸や新たな製造業を活かす、すばらしい事業だと思えます。この事業を更に発展させるため、一つのエッセンスとして、温泉施設の整備を行うことにより、訪れた人々と地域住民の交流と癒しの場として活用することが期待できると思えます。また、温泉だけでなく、この地域で食べられてきた「茶がゆ」

や川魚などの郷土の伝統食を同時に提供できれば、「ものづくりの里」構想がより一層すばらしいものになると思えます。

人が集うことにより、新しい風が吹き、空き家などの新しい活用方法もおのずと生まれてくるでしょう。

### 定住・雇用の拡大

次に、中竜門地区について、町内では、比較的規制の少ない地区であることに着目し、雇用の拡大を図るため、企業誘致や地区の特性を活かした新規事業の創設を積極的にサポートする体制づくりが必要で

例えば「進出企業に対する固定資産税や法人税など、税制面での優遇措置(期限付き)」や企業等に「遊休公共施設の提供」も考えられます。

また、「菜園付住宅の開発支援」として、この地域に多く存在する耕作放棄地を利用して「田舎暮らし」を求める団塊の世代の人々を呼び込むことで、耕作放棄地の広がりや過疎化に歯止めを掛け、将来的には、国栖地区の「ものづくりの里観光」と中竜門地区の遊休農林地での農林業体験など連携・協力して観光事業の展開ができれば、自立と個性のある地域を実現できるのではないのでしょうか。



ちょっと教えて、「じいちゃん

お答えします！お調べします！



**問** 吉野町にもシルバー人材センターが創設されると聞きました。

私も含め、会社を退職され、第2の人生を、健康や生きがいのため、何か役にたてないか？そして、わずかながらでも臨時収入が入るものはないかと思っていました。

そこで、シルバー人材センターのことをもう少し詳しく教えてくださ



**答** ようやく、吉野町社会福祉協議

会にて7月からシルバー人材セン

ターの業務が開始されるようです。

私も、前回チラシで掲載しましたように、吉野町にも高齢者の方々が健康で生きがいのある生活の実現のため、シルバー人材センターが必要と提唱してきました。シルバー事業の理念は、「自主・自立、共働・互助」という言葉で端的に言い表されていますが、我が国の急速な人口高齢化の中で発想された新しい就業システムです。

お隣の大淀町では、シルバー人材センターが平成15年ごろから業務を開始されており、平成19年度の事業実績報告では会員数が150名、受託事業の契約件数が936件、契約金額においては41、794、468円で、前年対比117%増の実績をあげたようです。

これも、人材センター会員の努力。

また、会員の入会促進と就業機会

の開拓を「町広報誌」によるチラシ折り込みや、有線テレビによるアピールによるものであり、役場の支援も重要だと聞きました。今後の吉野町をよりよく生活するために一つの方策として、シルバー人材センターの活動が必要であると考えています。

さう今後の人生、あなたの豊かな知識と経験を吉野のために、活かしてみませんか？

みなさまからの、『元気な吉野』へのご意見・ご質問をお待ちしています。一緒に吉野の元気について考えていきましょう。お気軽にお寄せください。待つてまゝです。

(住所) 〒639の3115  
吉野町吉野山1370の1  
(電話) 0746(34)5677



## 吉野総研からのお知らせ

お悩み事は、まず電話で...

NPO吉野総合研究所では、お年寄りの方々からの悩みや相談をお受けする窓口をつくりました。どんな事でもお困りでしたらお気軽に声をかけて下さい。

～ 高齢者のための支援活動 ～  
生活用品からタバコまで配達サービスを行っています。  
お気軽にお声掛けください!!

## “ボランティア”募集中!!

ボランティアの登録を募集しています。少しの時間でも地域のためにお手伝いできる方の登録をお願いします。

〒639-3125 吉野郡大淀町北野68番地の46  
奈良県知事認定団体 NPO 吉野総合研究所  
TEL・FAX：0746-34-5677